

# 「寒い毎日が続いていますが、心は温かい南小！」

<南風 第14回 2月>

大寒を過ぎ、暦の上では春ですが、なかなか春の予感が感じられない毎日です。毎朝、登校指導に立っていても、みんな寒そうに首をすくめて歩いています。それでも、元気にあいさつしてくれる子どもも多く、頭が下がる思いです。

令和6年度もあと2か月足らずでゴールを迎えようとしています。残りの登校日数も30日前後になってきました。保護者のみなさまや地域の方々の方々の支えてここまで、順調に教育活動を進めさせていただくことができました。ありがとうございます。

まもなく新年度を迎えるにあたり、今一度「凡事徹底」について子どもたちと考えてみようと思っています。凡事(当たり前のこと、ふつうのこと)を大切にして、徹底してやっていくことです。先日の職員会で職員に向けて、「学校での『凡事徹底』について子どもたちに考えさせて取り組ませてほしい」とお願いをしました。落ち着いて生活できている今だからこそ全校、全職員で向き合うべきことと思えました。「あいさつ」「時間を守る」「人の話をしっかり聞く」など、これらの凡事を積み重ねていくことで、よりよい社会人としてのマナーも身につくと思います。今月の朝礼でも、子どもたちに、当たり前のことを当たり前に行えるようになって、次の学年に進もうと話をして、意識付けたいと考えています。ご家庭でも、機会がありましたら、「家の中での当たり前のこと」について話合っただけると幸いです。

1月28日に、児童会主催でわくわく集会が開催されました。南小学校は、学校と地域で連携して「ひらかれ、おすばれる、子どもたち」の実現を目指しています。今年度はコロナ禍で希薄になっていた、「おすばれる」に力を入れていくことで、4月より異学交流の場を増やしてきました。人間関係が希薄になりがちな昨今の社会状況を見つめると、「ふれあう」「つながる」という経験値を高めるためにも学校の担う役割はとて大きいはずで

す。年度当初より月一回程度のペースで縦割りのグループで休み時間に活動する取組を行ってきました。リーダーとなる6年生も初めての経験で最初のうちは戸惑っていましたが、徐々に慣れてきて頼もしさを発揮していました。そして、その活動の集大成として、児童会主催の「わくわく集会」が開催されました。

「いらっしゃい、いらっしゃい」「楽しんでいってくださいね」と元気な掛け声が各教室の前から聞こえてきます。道案内をする高学年、景品を渡す低学年、一人ひとりが自分の役割をもち、協力しながら運営していました。テーブルクロス引きゲーム、ストップウォッチを使ったタイマーゲーム等工夫ある楽しい企画がいっぱいの南小学校となりました。私も「校長先生、景品あげるからゲームしてって！」の甘い声に誘われて、いくつかのグループで楽しく活動させてもらいました。

今後、AIが進化しても、やはり「ふれあい」「つながり」を伝えるのは「人」であることを強く感じました。自分たちがお客さんを迎える側になり、そしてお客さんの側になり、たくさんの仲間と交流を図ることができました。子どもたちだけでなく、我々教師もいっしょに楽しむことができるのが南小学校のいいところであると私は思っています。そして、終了後、「校長先生も来てくれてありがとう」という言葉が多くの子から聞かれたことが、最大の成果であると信じています。